

衆議院災害対策特別委員会ニュース

平成 23.4.14 第 177 回国会第 8 号

4 月 14 日（木）第 8 回の委員会が開かれました。

1 災害対策に関する件（東日本大震災による被害及び対策状況）

- ・松本内閣府副大臣、筒井農林水産副大臣、中山経済産業大臣政務官、小泉国土交通大臣政務官及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行いました。

（参考人）原子力安全委員会委員長代理 久木田 豊 君

（質疑者及び主な質疑内容）

石 田 祝 稔君（公明）

- ・国内での災害では国籍にかかわらず被災した外国人にも災害甲斐金等が支給されるのか。また、ニュージーランドにおける地震など海外の災害で死亡した邦人の遺族等に見舞金等を支給する必要があるのではないか。
- ・液化化現象による住宅被害について、松本防災担当大臣は、被災者生活再建支援法に基づく支援金の支給等に係る被災住宅の被害認定の基準を検討していきたいと述べているが、今後、どのように進めていくのか伺いたい。
- ・支援金及び日本赤十字社等の義援金が早く被災者に支給できるよう、政府が地方自治体等の事務を支援する必要があるのではないか。

高 橋 千鶴子君（共産）

- ・国が上から押しつけるのではなく、被災した地域の多様性や住民のつながりを踏まえた復興の計画が必要だと考えるが、松本防災担当大臣の所見を伺いたい。
- ・政府が新たに設けることとした「計画的避難区域」及び「緊急時避難準備区域」に法的根拠があるのか、また、「屋内退避区域」は未だ設定されていると考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・「屋内退避区域」に居住する者が、自主避難をして会社を解雇された事例について、政府の見解を伺いたい。

重 野 安 正君（社民）

- ・被災した地域では壊滅的な被害を受けた学校も多いようだが、県立高校等の授業再開の見通しはどのようになっているのか。
- ・福島第一原子力発電所の事故の国際原子力事象評価尺度を最高の「レベル 7」に引き上げた根拠として試算された放射性物質の総放出量について、原子力安全委員会と原子力安全・保安院が公表したデータとで数値が異なる理由を伺いたい。

齋 藤やすのり君（民主）

- ・未だにライフラインが復旧せず電気も使えない避難所があるが、優先的に復旧し送電するなど国として支援ができないか。
- ・中小企業の設備投資に対する補助金など積極的な支援策を第一次補正予算に盛り込む予定があるか。
- ・風評被害を防ぐため、「緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム（SPEEDI）」の運用を再開し、計算結果を公表すべきだと思うが、いつから公表できるのか。

石 山 敬 貴君（民主）

- ・避難所の衛生管理や被災者及び救助・捜索活動に従事している警察官、消防吏員、自衛官等の精神的なケアのためにどのような方策をとっているか。
- ・農地及び農業用施設の災害復旧事業について、被害額を査定する前に着工した場合も、国が事前に概算金を支払うべきと考えるが、どうか。
- ・津波により被災した漁港や漁場・養殖場のがれき撤去の費用についても、国が負担してくれるのか。

古 川 禎 久君（自民）

- ・福島第一原子力発電所の周辺住民に対し、安心できる避難先を確保し、生活支援をするためにも避難指示は明確で具体的であるべきと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・被災地に供給する合板、塩化ビニール管等の建築資材が滞っている状況について、どのように考えているか。

梶 山 弘 志君（自民）

- ・福島第一原子力発電所の事故により、低濃度の放射性物質を含む汚染水が海へ排出されたときに、東京電力から関係省庁、地方自治体に事前に連絡がなかったが、再度、

このような事態になった場合に、どこが責任をもって事前通報することになるのか。

- ・原発事故による海洋への汚染水の放出について、ロンドン条約や国連海洋法条約に抵触しないのか、また、各国から抗議がきていないのか。漁協への補償について政府はどのような対応を考えているのか。
- ・茨城県や千葉県において、地震による地盤の液状化により住宅に被害が発生しているが、政府は住宅の被害認定基準を見直すべきではないか。

谷 公 一 君 (自民)

- ・福島第一原子力発電所の事故に関し、「計画的避難区域」と「緊急時避難準備区域」が設定し、その避難開始を1ヵ月目途とする政府の説明について、内閣府副大臣はどのような見解を持っているか。
- ・原発事故から1ヶ月が経過し、依然として原子炉から放射性物質の放出が続いているが、事故が収束するのはいつ頃になるのか見通しを伺いたい。
- ・原発周辺で高い放射線量が検出されている地域については、菅首相等が当面住めないなどと発言したと報道されていることについて、経済産業省の見解を伺いたい。